

# RIGHT

第

3

本

部

執

行

委 員

会

開

催

۲

ただ、

半 容

が反映された内

2012年 10月10日 No.4 (400)

### 四国旅客鉄道労働組合

| M | ロット 発行責任者/中濱

## 編集責任者/眞鍋健治 総

イアール四国バスプサ型・大型自動車で大型自動車で対する場合に対する

運転免許の取得に係る経合休暇制度 (保存休暇)を

を

を拡

新大設!

ļ

を

加加

スク手当と技能手当を併

担用

ツ

ク検査費用を一

## J R四国】

(保存休暇)

を新設

年

勤続者に対

する 休

が多くあるため、

車

暇

制度

(保存休暇)

を お 第 1 交渉は、8月31日 日 強く訴え、9月21 いて組合側 の第2回 総合労働協 回目及び9月11 目交渉に の主張 約改 の き た。 『中型・大型自動

暇 日 た 単位の年次有給休 今回の交渉 のうち『半 で ţ

日に最終交渉を行っ

大。 制度の適用範囲 対 す 永年勤続者 休暇制 を

拡

組合が要求していた 内容が反映されたと があった項目であり、 組合員から強い要望 度の拡大については、 ま

を引き出すことがで る経費等を負 3項目において成 運転免許の取得に 位の年次有給休暇制 組合は、「 半日単 担 果 の 係 休日の問題 負担についても同様 取得に係る経費等の型自動車運転免許の の であるが、その他の 新設や、 中型・大 ず、

の 受診費用及びその時額、SASの毎月の 要求項目である年間 手当ての新設及び 勤務の扱い、 契約 各種 増

|社員の雇用のあり方 積み残し た課題 照 国労組ニュー

【ジェ ロ国バス】

これまでの交渉で組 に最終交渉を行った。 に引き続き9月21日 8 月 31 日 の 1 回目

を 一 回答を引き出すこと 組合の要求に沿っ つ 技能手当を併給適用』 果、『デスク手当 を積み重ねてきた結 えるとともに、 合側の主張 脳ドック検査費用 いて会社側より、 部会社負担』 を強く 折 に 衝 訴

> 承認につい 交渉経過及び妥

社員賃金引き上げ」平成24年度「契約

契約

の了承承認につ

きな 次 |り巻く環境の厳しさ を認識しつつ、 でいる。 送に全力で取り組 安全・安定・安心 「組合員は会社を や職能給をはじめ 特に年齢 日夜、 給 Ь 輸 取

> 第 について

22

回ゴルフ大会

いて

と強く訴え、 検討を要請する。 |年度に向け前向

15

と訴え、 な検討を要 ては、 次年度に向 する賃金改善につ 要望が強 . . け前. 時に妥 請する」

へ 交渉の で が に J R 四 スを参 \_

経緯等詳細 妥結した。

は

その他

ルについて 当面するスケジュ

| | ション | シェン |

別の「ホテルサ|月3日(月)宇

ト瀬戸大橋」

分会大会の

開

催

日

特別代議員、

来賓方々

自動

において、

代議員、

程について

ができた。 交渉の中で組合は、

的な考え方につい手当」要求の基本平成24年度「年本

い本末

いと

いて

第 1 の開催につ

ル大会の開催

つ

へ会の開催に- 回ドッジボ・

た

と挨拶した。

残っている。論点のたけて解決する課題もけて解決する課題も中で不公平感が残っ 中で不公平感が残っ (組 【経過報告】

リ本部1階合 日(土)10時 は、

る3本の 終了し、

・討論が行ねの柱を中心

会

2議室で

うし 10は′ 漢、

409部 分月執 よ 29行

第 3

回

本

全支部で

支

部

i 大会

勤

務種別が限定され

制度を取 なった。

得できる

掲

開催された。

冒頭中濱委員長は、

取体活れにげ

体的に行動・実践に活動方針に沿って具れたが、決定されたに質疑・討論が行わ

整理をしていきたい。

等 ル四

が開催されるが、分 取り組んでほしい。 取り組んでほしい。

性化するよう各支部

でもしっかりフォ

R四国労組としても、 ム』を設置した。

会での組合活

加が活

課題プロジェクトチー に関わる中長期政策

四国バス)

R連合内に『JR 政策課題について、

(支部大会) 車、 高知、 徳島支部 本 · 社、 香 Μĺ 自

(部会) 青女 部会三役会 議

制度の適用範囲交渉について、総合労働協力

て、

囲、約の半改

営自立に

J 物

P

等に

向R け四

八は各支部が度の適用な

か

5

の

要 拡

課題解

決

に向

し

てほし

と議事について議論その後、経過報告 が交わされた。

·第10 (共闘)

中長期 教育・ 組織戦略会議 JR連合) 広報担当

発足会議 会定期総会 グルー プ労 ロジェ クトチー 政策課題 組 連 プ 絡 厶

青年・女性委員会

員組会織・ 財政検討 委

を受けた。

では、

行

部

は言 田

気れ、

出の長

よりー

<sup>1</sup>4告、会計的 般経過報 <sup>2</sup>

告、

が

報

盢

査

述べた

後、

私傷病

共済運営

委

会本部青 女常任委

ミ第 ナ17 I回

の

開

催連

に合って

会が盛大に開催の出席のもと、

催された

回 J R

集約結果について 金実態 アンケー 回グループ賃 員 四国交運 ついて 支部書記の採用 回定期 について 総 労協 会

行委員会の開始 (第4回) ついて 門委員会の開催第1回組織財政 ات 執 専

者

の開第 に 催 24 徳島分 長江副 員を選出し議事に入っ 審査委員会の大 立宣言の 挨拶で始まり、 大会は13時 委員 会の多田 後、 長 から、 議 の 長 会 資 開 に 成 格 会 代長議に 資 開

定・安心輸送の取り委員長は、安全・安 保組み、労働 労働環境の改善、 運輸収入の確めの報送の取り

催

に

に 京 ( お 第 土 い ー ) 特別代議員、 期大会は、 いて、 席のもと盛 なて、代2 支部 9 来賓方々 第 議松の「東 月 27 8 □ 東Ď

化等について考えをめた組織の充実・強・青年女性組合員も含 挨 拶 開催された。 委員 で 角 始 野 大会は13 3原代議員が位が行われ、 お執行委員の 会より大 時 分、会格の 会議成審接の の長立査拶 大に



大会は

職 場

諸問

題

の集

τ

### 自 大会終了! 動 車 支

全支部にて

報

告

平

成

24

年

労 平 議 働 成 事 議

年

度「

総

協 24

約改

訂

結 の合

入った。 の 定輸送の確立、 案が提起され 質疑では、 活動方針案と予 安 質 疑

に井浦委員長の一て採択された。 成 締 功め団最 に算度

愛 媛 支

実現の取りの境の改善、ないの確保、 輸送の確立、 松下委員長は冒頭 保、 り組み、組成策課題は、労働環 安全・安

見があり、執行部の等について質問や意善に向けた取り組み が提起され質疑に入っ活動方針案と予算案報告、平成24年度の会計報告、会計監査 織方針、 よりー 答弁の後、 安定輸送、 た。質疑では、 て考えを述べ 議事では、 般経 労働環境改送、今後の組 全体の拍 過 報告、部 安全・ につい た。 の

手を持って採択され、 結ガンバローで締 後に松下委員長の

## 香 Ш 支

徳 支 等について質問や取り組み、組織問題、政治・共闘安定輸送、労働環

組織問題

迎え、中長期的視点合結成20年の節目を

R単組代表者ら計70 長をはじめとする」

執行部の 質問や意

に立った政策立案が

|本PTアドバイザー||名が参加した。また

携を強化しながら、地方自治体等との連

国交省、JR各社、 設定することとした。

の下、結成された。 必要であるとの認識

瀬戸大橋」において、 ホテルサンルート 香川支部第26回定 9月9日 /津町の (月)徳島市の「ホ期大会は、9月10日 徳島支部第26回宝 の出席のもと盛 特別代議員、来賓方々 に テルクレメント徳島」 おいて、 代議員、 ホ日定

の取り組み等につい織問題、政治・共闘 治向は親題収入の間に、現代のでは、現代のでは、現代のでは、現代のでは、またのでは、ま と盛大に開催された。 事進行が行われた。 選 分会の畠 議長には 成 挨 石 成立宣言が行われ、 番査委員会より大会 挨拶で始まり、資格 石川 挨拶で、 出され、円滑 賓方々 1、円滑な議 田山代議員が 関本 単単区 、の出席 行委員長の 13 時から、 の

て 考えを 述べ 転所分会の前田代議れ、議長には徳島運大会成立宣言が行わ 員が選出され、転所分会の前田 資長格の な議事進行 大会は 格審査委員会より の挨拶で始まり、 米多副: 13 時 i 執行委員

活動方針案と予算案 会計報告、平成24年度の が提起され質疑に入っ より一般 議事で 経過 Ιţ 執 報 安 全 告、 行部 運輸収入の確保、労産輸送の確立、鉄道の挨拶で、安全・安浦川委員長は冒頭 た。 働環境の改善、

政策

採択され、最後に石全体の拍手を持って 組織問 質問や意見があり、政治共闘等について 問た。題の概 執 ローで締めくくり 委員長の団結ガン 行部の答弁の後、 質疑では、 題 労働環境問 政策課題、 活動方針案と予算案 より一般経過報告、 会計報告、 会計監査 議事では、執行部 が提起され質疑に入っ 闘の取り組み等につ組織問題、政治・共 課題実現の取り組み、 いて考えを述べた。



た。

質疑では、安全・

労働環境

足して25年、JR連PT) は、JRが発

R四国労組中濱委員いただくと共に、J

プロジェクト(以下、

|各社経営幹部に参加

定化

貨物鉄道モー

二島・貨物経営安

ダルシフト

鉄道特

性活性化の3PTを

久保鉄道局長、JR

並びに発足式」を盛 クトチーム発足会議

書 5 名、

「JRに関わる中長

(衆)、

連合は、

9

東京都内で

三日月大造事務局 伴野豊副会長 (衆)、

政策課題プロジェ

小川淳也事|遂げるためにJR連

が持続可能な発展を

坪井会長は、

「 鉄 道

|5名、国土交通省| ある。そのために、||名の国会議員と秘| 立案の構築が重要で|

大に開催した。この

一闘の

特別代議員、 開 民催される 最後こ前一派で採択され、 見があり、 めくくり、 団結ガン 最後に浦川委員長の

ノバロー

国会議員懇談会松野

頼久会長 ( 衆 )

足式には、JR連合

東京女子大学竹内教

ていく」

と決意を述

て産業政策を推進し 中長期的視点に立っ

授にも参加頂いた。

発足会議の冒頭、 連合を代表し

は

JRが発足し

松野会長

神戸大学正司教授、

の専修大学太田教授、

発足会議並びに発

「たけ」 期大会は、

宇多

サー

I)

催することができま参加があり盛大に開

を含め60

名もの

## Ш 支 部

分会レクを開催

۲

声が入り交じり、好プレーに笑いと 気の中での珍プレー 和気藹々とした雰囲 負に賭ける者など、 61 し ました。 いひとときを過が入り交じり、

30

分か

が行われ 円滑 で、善通寺市のマッから23日までの日程 催しました。 ボウリング大会を クスボウルにおいて、 分会は、8月20日私たち多度津運転 開 組 の

クル活動を計画し、 今後も、

つけたいと思います。 多度津運転区分会 充実・強化に結び 合員の親睦と組 本

発揮する者、一発勝加し、日頃の成果を も参加出っ し、日頃の成果を名もの組合員が参 あって、 来る競 4 日 間 で 技誰 愛 媛



支 部

釣り、 黒になるまで遊び、 真夏の日差し 海水浴で真っ

タ方からは日本一の した。また、夜の宿大いに盛り上がりま の交流を深めること 舎では、 組合員同士

少一

74-0

087-8

寺町国分1009

い活動を行って 加できる明るく楽し 企画開催し、1人で たいと思います。 も多くの組合員が参 したイベントを随時 ができました。 今後も趣向を凝ら L١

国労組

双海

松山運転所分会 藤谷

プを開催しました。 おいてサマーキャン 潮風ふれあいの館に 日間に渡って、 8月3日~4日の2

2日間で、

組合員、

様々なサー 楽 歓 松山運転所分会は、

昭典

中長期政策課題プロジェクトチームを発足! |多い。本PTで鉄道 期待する」と述べた。 提言がされることを にむけての前向きな げられるよう、将来 特性を発揮しながら じめ残された課題も 持続可能な発展を遂 て25年経過した中、 島・貨物問題をは がら、1~3年の期|成員として参画しな 認した。JR四国労 組は、小川淳也事務 をまとめることを確 間でそれぞれ答申書 及び単組代表者が構 安定化PT』及び三 る『三島・貨物経営 局次長が座長を務め 大学教授に就任して ドバイザー 座長にJR連合国会 いただき、JR連合 議員懇談会役員、ア に分科会を開催し、 に上記の 力への期待度の高さ」R連合の政策実現 Rの代表産別であるれるなど、改めてJ 待の声が多数寄せら立った本PTへの期 Ιţ R各社経営幹部からが発せられた他、J が明らかになっ 策立案を期待する声 発揮できるような政 役員から鉄道特性を 連合国会議員懇談会 今後、 中長期的視点に JR四国労 た。

The second second

日月大造事務局長が 座長を務める『鉄道 長期的な政策課題の組は、JR四国の中 解決にむけてJR連

営安定化等に向け 所属しJR四国の経 特性活性化PT』 り組むこととなった。 引き続き開催され 組 員懇談会と連携を密 に向け精力的に取り JR連合国会議 その課題解決